

2026年『2月県議会』代表質問で取り上げた項目です。

1. 県政推進の基本姿勢について
 - (1) 新年度予算と財政運営
 - (2) 日銀利上げの影響
2. 農林水産業に係る施策について
3. 公共交通の維持について
4. ビッグデータの活用について
5. 公契約条例の制定について
6. カスタマーハラスメント対策について
7. AIのガバナンスと利活用について
8. 教育現場における会計年度任用職員について
9. 福岡高速道路の延伸について
10. 地下鉄空港線とJR九州「福北ゆたか線」との接続について
11. 新県立美術館の地域連携と活性化について
12. その他県政一般について

代表質問質疑応答
全文QRコード



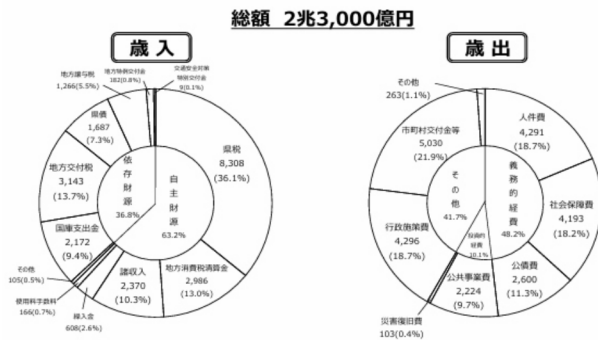
福岡県2026(令和8)年度予算2兆3千億円で過去最大！

令和8年度一般会計当初予算

令和8年度当初予算編成の考え方

チャレンジと安心！豊かな未来へ「翔」け上がる福岡県

- 人を育て、すべての人の活躍を応援する
- 産業を育て、県経済を強くする
- 人を惹きつける元気なまちをつくる
- 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る



一般会計歳入歳出規模

16か月予算 2兆4,132億円

過去最大

当初予算 2兆3,000億円
2月補正予算 822億円
12月補正予算(既決) 310億円

2月定例会提案額
2兆3,822億円

県税収入 8,308億円
(過去最大)

※令和8年度当初予算は、国の経済対策を最大限活用した令和7年度12月補正予算及び令和7年度2月補正予算と合わせた16か月予算として一体的に編成

福岡県の「2026(令和8)年度当初予算」編纂にあたり、服部知事が掲げたテーマは「チャレンジと安心！豊かな未来へ『翔』け上がる福岡県」です。子どもたち、若者、女性、中小企業者をはじめ、スタートアップのチャレンジをしっかりと応援するとともに、少子高齢化という複雑かつ困難な課題に対し、様々な課題を乗り越えるべくチャレンジを行っていくとの決意を込めています。

そして、防災や治安はもとより、環境を守り、安心して心豊かに暮らせるまちをつくる、安心して子どもを産み育てることができるふるさと福岡県をつくる。農林水産業や商工業など産業を育て、賃上げ所得の向上を図り、豊かな未来に向けてチャレンジを行っていくため、本年4月1日から本庁の組織を8部から11部体制とし、この新体制の下で諸施策を推進していきます。

そして、一般会計の予算規模ですが、当初予算ベースでは過去最大の2兆3,000億円となります。更に、本年2月補正予算と合わせますと2兆3,822億円となります。この新年度予算の中には、新規事業は215件盛り込まれており、昨年度比で16件増えています。

〈これまで会派で取り組んできた政策の成果〉

福岡県議会「民主県政クラブ県議団」が今期、県議会代表質問等で取り上げ、政策提言を行うとともに、実効ある対策が講じられてきた政策です。

◎政府「社会保障制度改革協議」病院病床11万床削減が地域医療に与える影響への対策について。

◎2026年4月から始まる「こども誰でも通園制度」、「地域限定保育士制度」に対応できる本県の保育環境対策について。

◎下水道管路の点検に伴う作業員の安全確保とともに、点検・調査技術の高度化の情報収集についての対策について。

◎全ての県立高校の体育館等へのエアコン設置について。

◎適正な価格転嫁を進め、持続的な賃上げを推進すること。

◎暴力団、トクリュウの壊滅に向けた対策の強化について。

◎県内の井戸や水源地でのPFAS及びPFOS、PFOA検査と対策について。



(26/2/15中国放送)